

R&amp;Dスタッフによる異業種交流、相互啓発、共同研究

# R&Dマネジメント交流会議

開催にあたって

R&Dマネジメント交流会議は、R&Dスタッフの相互啓発と異業種交流を目的として1967年の創設以来、メンバー間の活発な研究と討議を積み重ね、互いに学びあいながらR&Dマネジメントのあるべき姿を探求する場として好評を博しております。参加者の皆さまからは、異業種間による情報交換や人的ネットワークの形成、さらには各自の課題究明ができるとの声もいただいております。

第55期となる今期は、コロナ禍の中、オフラインとオンラインを併用したハイブリッド型での例会により、「新規事業を創出し、企業の成長と持続的発展を実現するR&Dマネジメント」を基本テーマとして活動いたします。

## 第1回例会 2021年4月22日(木) 13:30~18:00 / Zoomと会場開催の併用開催

(第1部：基調講演) 13:30~15:00

### 『大変革時代における イノベーション創出に向けたR & Dマネジメント』

ご講演：東京大学 総長特別参与 工学系研究科 教授  
坂田 一郎 氏



略歴

1966年生まれ。東京大学経済学部卒、ブランダイス大学より国際経済・金融学修士号、東京大学より博士号(工学)を取得。現在、東京大学総長特別参与、未来社会協創推進本部(FSI)ビジョン形成分科会長、工学系研究科教授(技術経営戦略学専攻)を務める。

2020年10月の東京大学FSI債の発行では、現場責任者を務めた。国土審議会特別委員、荒川区教育委員、ダイキン工業フェロー等を兼務、日本工学アカデミー正会員。

専門は、大規模データを用いた意思決定支援、知識の構造化、計算社会科学、地域クラスター論など。

「テクノロジー・インフォーマティクス」を提唱している。

共著に「都市経済と産業再生(岩波書店)」「クラスター戦略(有斐閣選書)」「地域新生のデザイン(東大総研)」など。

(第2部オリエンテーション・本会議の進め方紹介とメンバー交流) 15:00~18:00

## 第2回例会 5月20日(木) 13:30~17:00 / Zoomと会場開催の併用開催

(第1部:基本解説)

### 『R&Dマネジメントの基本的な考え方と研究企画部門の役割』

ご講演：R&Dマネジメント交流会議 コーディネーター 高橋 富男 氏

(第2部：ディスカッション) 企業の成長に寄与するR & Dマネジメントとは？

## 第3回例会 6月17日(木) 13:30~17:00 / Zoomと会場開催の併用開催

(メンバー討議)

### 『メンバー各社におけるR & Dマネジメントの現状と課題』

「メンバー交流シート」の活用により参加メンバーの課題意識を共有するとともに、課題解決に向けた方策・今後の議論の方向性を探ってまいります。

- R&Dマネジメントについて明確な問題意識を持ち、積極的な意見交流を希望される方々
  - 事業会社のR&D部門を中心に、R&Dマネジメントに携わる方々
- ※意見交換のできる方でしたら、お役職は問いません

## 年間スケジュール概要 (2021年4月～2022年3月 (全12回/13:30～17:00を原則))

	研究テーマ/講演・討議と内容									
第1回 2021年 4/22(木)	<p>【基調講演】大変革時代におけるイノベーション創出に向けたR&amp;Dマネジメント 坂田 一郎 氏 東京大学 総長特別参与 工学系研究科教授</p> <p>【オリエンテーション (本交流会議の進め方等)】</p>									
第2回 5/20(木)	<p>【基本解説】R&amp;Dマネジメントの「基本的考え方」と「研究企画部門の役割」 高橋 富男 氏 本会議コーディネーター</p> <p>【グループディスカッション】企業の成長に寄与するR&amp;Dマネジメントとは？</p>									
第3回 6/17(木)	<p>【メンバー討議】メンバー各社におけるR&amp;Dマネジメントの現状と課題 「メンバー交流シート」の活用により参加メンバーの課題意識の共有と、課題解決に向けた方策・議論の方向性を探ります。</p>									
第4回 7/8(木)	<p>第4回例会以降は下記の時間構成で進めてまいります。</p>									
第5回 8/26(木)	<table border="1"> <tr> <td>第1部: 13:30～15:00</td> <td>→</td> <td>第2部: 15:00～17:00</td> </tr> <tr> <td>・ゲスト講演</td> <td></td> <td>・グループディスカッション</td> </tr> <tr> <td>・メンバー発表</td> <td></td> <td>・テーマ別分科会</td> </tr> </table>	第1部: 13:30～15:00	→	第2部: 15:00～17:00	・ゲスト講演		・グループディスカッション	・メンバー発表		・テーマ別分科会
第1部: 13:30～15:00	→	第2部: 15:00～17:00								
・ゲスト講演		・グループディスカッション								
・メンバー発表		・テーマ別分科会								
第6回 9/16(木)	<p>【主な「ゲスト講演テーマ」や「分科会・研究討議テーマ」の例示】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ テーマ・マネジメント(探索、推進、評価…)</li> <li>■ 競争力を高めるR&amp;D戦略の立案</li> <li>■ R&amp;D成果の事業化と新規事業創出</li> <li>■ R&amp;Dにおける組織と人材のマネジメント、ほかメンバーニーズに基づき設定してまいります。</li> </ul>									
第7回 10/21(木)										
第8回 11/18(木)	<p>【テーマ別分科会とは】</p> <p>関心テーマ別に固定メンバーによるチームを編成し、複数回にわたり集中的に議します。異業種各社のメンバーが各々の知見を持ち寄り、自己課題解決の考え方、コンセプト、具体的な実践方策を研究・討議いたします。</p>									
第9回 12/16(木)										
第10回 1/20 (木)	<p>【参考：前期(第54期)のテーマ別分科会テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 持続的成長のための長期テーマの探索と仕組みづくり(8社8名参加)</li> <li>■ R&amp;D成果を事業化に繋げるテーマのマネジメント(6社7名参加)</li> <li>■ R&amp;D組織の活性化と研究人材の育成(8社8名参加)</li> </ul> <p>◆ その他、「合宿研究会」や「企業・大学・研究機関等の視察見学会」の実施も検討しています。</p> <p>◆ 日程等変更する場合がございます(その際は速やかにご案内いたします)。</p>									
第11回 2/17 (木)										
第12回 3/17 (木)	<p>【分科会活動成果の発表会：今期の振り返りと新たな課題意識の共有】</p>									

**運営体制**：本会議の企画運営およびサポートを頂きます。

### 【運営幹事 (社名50音順)】

宗吉 亮太 氏	AGC (株) 技術本部 材料融合研究所 開発推進チーム テーマ推進エディタ
堀内 勝司 氏	オリンパス (株) CTO戦略企画、グローバル バイオレジデント
伊藤 美津江氏	シスメックス (株) 技術戦略本部 R&D戦略部 課長
加藤 清一 氏	積水化学工業 (株) 新事業開発部 LBグループ 営業エディタ
平田 康一 氏	ナミックス (株) 経営企画室 グループマネージャー
海野 敏夫 氏	ヤマハ発動機 (株) 企画・財務本部「レポート」コミュニケーション部 広報グループ 主管
湯田 昌宏 氏	(株) LIXIL Technology Innovation本部 プロセス改革部 部長

### 【アドバイザー】

東 研一 氏	ダイキン工業 (株) テクノロジー・イノベーションセンター
植村 真樹 氏	(株) 資生堂 みらい開発研究所 新領域価値開発センター マネージャー

### 【コーディネーター】

高橋 富男 氏	元 東北大学特任教授 産学連携推進本部 副本部長
	元 住友金属鉱山(株) 研究開発本部 開発企画部長

第55期主題：新規事業を創出し、企業の成長と持続的発展を実現するR&Dマネジメント

## 企業競争力を高めるR&D戦略の立案

- ◆ R&Dを方向づけるビジョン、経営戦略とR&D戦略の整合性
- ◆ コア技術の明確化と強化、拡充
- ◆ コーポレート研究と事業部門研究のミッションと連携
- ◆ 将来の市場、技術予想とロードマップの作成
- ◆ 「選択と集中」の技術ポートフォリオマネジメント
- ◆ R&D部門のグローバル化対応

## テーマ・マネジメント（探索、推進、評価）

- ◆ テーマ探索の具体的方法とマネジメント
- ◆ コア技術戦略の布石、融合、展開
- ◆ 社会トレンドとテーマ設定の方向性
- ◆ テーマの発案と評価、推進のマネジメント
- ◆ 研究フェーズと開発フェーズのマネジメントの相違

## R&Dマネジメントの役割と目的

- ◆ R&Dの目的とイノベーション
- ◆ 企業とイノベーション創出
- ◆ R&Dでのリーダーシップとマネジメント
- ◆ 勝てるR&D戦略、差別化戦略、知財戦略
- ◆ 経営にインパクトを与える成果を得る仕組みづくりとサポート体制の整備
- ◆ R&D部門における企画の役割

## R&D成果の事業化と新規事業創出

- ◆ 事業価値を考えたR&D成果の活用
- ◆ R&Dとマーケティング、オープンイノベーション
- ◆ プロジェクト推進とゲート評価
- ◆ 研究から開発、事業化へのプロセス、死の谷の克服
- ◆ 新規事業創出の要件
- ◆ ビジネスモデルの探求とテーマ創出

## 組織と人材のマネジメント

- ◆ 組織を不活性化させない仕組みづくり
- ◆ 創造的組織、風土の醸成
- ◆ カオスと秩序のバランス
- ◆ 創造的人材の発掘と育成

## 参加者の声

他業種の皆様と様々な課題を共用できたことはとても有意義でした。事業戦略に沿った、自社/自部門のコア技術を生かした顧客価値とは具体的に何か？を今一度よく考え、研究開発に取り組んでいきたいと思っています。

R&Dビジョンとコアコンピタンスを具体化し、R&Dロードマップに基づいた既存事業のアイデア創出と技術開発、新事業創出活動を始めたいと思います。

Before：部門間に壁が有り、連携ができず総合力が発揮しにくい。  
After：部門間の壁は個人的人脈を広げて突破する（他責から自責へ）。

経営戦略、事業戦略と紐づいた技術戦略を構築し、技術戦略に基づく新規研究開発テーマを立案する仕組みを構築したいと思います。やりながら分からないことや壁にぶつかったら皆さんに相談したいと思います。

「社会課題を自らが解決するのだ」と強い意志を持った組織を目指し、アイデア提案の場や人材育成など新規事業創出の組織作りに注力します。

## 前期（54期）活動内容（2020年9月～2021年3月：7会合）

日程	内容
第1回 10/22	基調講演：国内外におけるSTI for SDGsの取り組み 科学技術振興機構 顧問 中村 道治 氏
第2回 11/19	メンバー交流：メンバー各社におけるR&Dマネジメントの現状と課題 ～メンバー相互で知見を交流し、R&Dマネジメントを考察～
第3回 12/17	特別講演：科学技術予測調査(デルファイ調査)について 文部科学省 学術政策研究所 科学技術予測センター
第4回 1/21	アドバイザー講演：アフターコロナ・企業が持続的成長を続けるためのR&Dマネジメント 元キヤノン(株) 材料技術研究所長 村井 啓一氏
第5回 2/19	ゲスト講演：R&Dマネジメントに関する最近の動向 立命館大学大学院 テクノロジーマネジメント研究科 教授 長平 彰夫氏
第6回 3/4	アドバイザー講演：コミュニケーションを重視するR&Dマネジメント T&M研究会 代表/元日東電工(株) 技術企画部長 六車 忠裕氏
第7回 3/18	分科会活動報告会 ～約半年間にわたる研究討議の成果の各分科会からの報告と全体共有～

◆第54期は、7会合に短縮しての開催となりました。

## 前期（54期）参加企業一覧 ※企業名50音順 / 1社から複数名のご参加もあり

- AGC
- オリンパス
- キューピー
- 資生堂
- ダイキン工業
- 太陽誘電
- タムロン
- 東芝テック
- 豊田中央研究所
- ナミックス
- 森永製菓
- ヤマハ発動機
- LIXIL
- リコー

## 参加要領

【事業コード：210028】

### ■ 参加費 / 1名様

正会員：297,000円

(本体価格 270,000 + 税)

一般：330,000円

(本体価格 300,000 + 税)

- ※上記料金は資料代・通信費などを含んでおります。
- ※合宿研究会など実施の場合は、参加費を別途ご請求致します。
- ※参加費の分割お支払いや請求品目変更も可能です。  
お気軽にご相談ください。

### ■ 申込方法

企業研究会のウェブサイト



「お申込は[こちら](#)」からお申し込みください。

※お申込みをいただいた方（含む体験参加の方）には、第1回例会のご案内をメール送信いたします。

### ■ 体験参加

第1回例会（4/22）は、正式参加をご検討中の方に、本会議の雰囲気をご覧頂く体験参加が可能です。

要：事前予約。

※「体験参加」は、正式参加メンバー募集の一環としてご案内しております。

体験参加後、正式ご参加をいただく際、正規のご参加費を申し受けます。

### ■ お問い合わせ・お申込先

一般社団法人 企業研究会 第1事業グループ

担当:小野原

E-mail : onohara@bri.or.jp

TEL: 080-1393-5593 (直通)

TEL: 03-5215-3511(代表)

〒102-0083

東京都千代田区麹町5-7-2 MFPR麹町ビル2F